



2023年(令和5年)6月30日
明石市立二見北小学校
学校だより 第491号

「悩んでいない親はいない」

教頭 梅本 欣司

「子はかすがい」、「かわいい子には旅をさせよ」、「子は親の背中を見て育つ」、「親の心子知らず」、「子は親の鏡」など、親子に関わることわざは数多くあります。それだけ昔から人類は子育てに悩み、そのヒントを探してきたからではないでしょうか。私の教師生活においても 個人懇談や教育相談を行う度に、「子育てにおいて、悩んでいない親はいない」と感じてきました。周りから見ると、とてもいい子でその親には子どもの悩みなどないように思われるかもしれませんが、どの親も、我が子のことについては、生まれてから悩みは尽きないと言えるでしょう。

なぜ親は子どものことで悩むのでしょうか。それは、生まれた時は、「元気でさえいてくれたら」と言う親心が、いつの間にか「この子には幸福な人生を歩んでほしい。」と願うようになるからではないでしょうか。これこそが「教育の目的」であり、教育の力によって、「よりよく生きる力」を身に付けることができるのです。「親はなくとも子は育つ」と言いますが、人生において家庭の教育力はとても重要で、共に生活する人々から受ける影響はその子の人生を大きく左右すると言っても過言ではないと思います。有名な子育て四訓には、「1. 乳児はしっかり肌を離すな 2. 幼児は肌を離せ、手を離すな 3. 少年は手を離せ、目を離すな 4. 青年は目を離せ、心を離すな」と、子どもが自立するために、親が子離れしていくための関わり方を教えてくれています。少年期の目を離さない関わり方と言うのは、子どもにとって、「自分のことを見てくれている」という安心感をどう感じさせてやるのかだと思います。それは、あなたも若芽が水分や養分、そして温かな日光を浴びて成長するかのごとく、大人の慈愛ある関わりが、子どもの心身の健全なる成長に大きく影響するようなことだと思います。このことを先人は以下のような言葉で表しています。

「子どもたちは愛情と励ましの中で成長し、自分の夢を追求する勇気をもつことができる。」

「親の役割は子どもたちが道を見つける手伝いをすることであり、子どもたちの道を決めることではない。」さらに、「子どもを不幸にする一番確実な方法は、いつでも、何でも手に入れられるようにしてやることである。」というのは、かのルソーの言葉です。

私たち教師も、「最大の教育環境は教師自身である。」との自覚に立ち、子どもたちにとって最高の支援者、最高の伴走者を目指して、一人ひとりの子ども達を大切に育んでまいりたいと思います。

今月の予定

日	曜	行	事
3	月	命の集会	
4	火	Fタイム（サークル）	きらきらの会（2年）
6	木		きらきらの会（4年）
7	金	平和学習・麦わら帽子の会（6年）	
11	火	代表委員会	きらきらの会（3年）
12	水	情報モラル講習（児童向け）	
14	金	1学期給食最終日 子ども安全の日 ベルマーク回収日 スクールカウンセラー来校日 修学旅行保護者説明会（6年）	
17	月	海の日	
18	火	12:30 下校 個人懇談会（14:00～16:00）	きらきらの会（5年）
19	水	12:30 下校 個人懇談会（14:00～16:00）	
20	木	12:30 下校 個人懇談会（14:00～16:00）	きらきらの会（6年）
21	金	終業式 11:40 下校	
24	月	夏季休業日（～8/27）	

8月の主な予定

28日:始業式 地区別一斉下校 11:40
29日:身体測定（6年） 12:30 下校 自然学校説明会（5年）
30日:身体測定（5年） 給食開始日 13:40 下校
31日:身体測定（4年） 13:40 下校

学年紹介

スマイルいっぱい3年生☆

3年生になり、新しく勉強する教科がたくさんできました。生活科が理科と社会になり、初めての外国語活動ではネイティブの先生と外国語に親しみ、音楽ではリコーダーの学習にも取り組んでいます。理科では、モンシロチョウやアゲハチョウの成長を学習して、たまごから成虫になるまでを見守りました。社会では、校区探検と二見町探検に行って住んでいる町のことをたくさん学んでいます。自分たちが住む町の良いところや自慢を壁新聞や学年の掲示板にまとめたので、来校の際にぜひご覧ください。また、総合的な学習の時間では、もうすぐトウモロコシの皮むき体験があります。新しいことにどんどんチャレンジする、スマイルいっぱいの3年生です。